

令和6年度（第15期）

事業計画・予算書

2024年4月1日～2025年3月31日迄

公益財団法人佐藤国際文化育英財団

2024年度佐藤美術館展覧会等スケジュール				
		休館日	開館日数	備考
4月				
	多摩美術大学大学院日本画研究領域二年生展「REFLECTION」 4/19(金)-5/2(木)	月曜日	12	無料
5月				
6月				
	佐藤美術館収蔵品展 5/14(火)-6/30(日)	月曜日	42	有料
7月				
	描画図鑑「おとぎ話」 7/9(火)-7/21(日)	月曜日	12	無料
8月				
	東京ゆうゆう会研究発表展(仮称) 7/30(火)-8/12(月・祝)	月曜日	13	無料
9月				
	渺渺展 byoubyouten 8/20(火)-9/1(日)	月曜日	12	無料
10月				
	佐藤国際文化育英財団 第33回奨学生美術展 9/10(火)-10/20(日)	月曜日	36	無料
11月				
	～昭和・平成・令和～ 女性日本画家展 *特別出品:守屋多々志「紫式部」 11/1(金)-12/15(日)	月曜日	39	有料
12月				
1月				
	—芸術の源泉— 日本画家が想い、描く富士山展(仮称) 1/7(火)-2/16(日)	月曜日	36	有料
2月				
	大志学園卒業制作展 2/21(金)-3/6(木)	月曜日	12	無料
3月				
	武蔵野美術大学大学院修士課程日本画コース修了制作展 3/11(火)-3/23(日)	月曜日	12	無料
			計 226	

## 公益目的事業 1

全国の美術系大学において美術（絵画）を専攻する国内の学生及び留学生に対しての奨学金の支給並びに若手作家に対する支援事業

### 1. 奨学金の支給事業

(1) 第33期生6名の2年目の奨学金支給をおこないます。

\*京都芸術大学の奥野久美子、多摩美術大学の星<sup>もゆる</sup>萌、筑波大学の勝間田<sup>まあや</sup>万綾の3名は大学院修了のため、東京藝術大学の津江太陽は休学のため6名に支給。

(2) 第34期生の奨学生の募集及び奨学金支給事業を行います。

対象学生 美術を専攻する学生、留学生（大学、大学院）

募集人数 令和6年度10名を予定（日本人、外国人留学生）

支給期間 令和6年4月より2年間

奨学金 一名あたり：月額3万円（年間36万円）×10名

募集依頼大学 以下の13大学より募集を致します。

- ・東京芸術大学・京都市立芸術大学・多摩美術大学
- ・武蔵野美術大学・女子美術大学・京都芸術大学・広島市立大学
- ・愛知県立芸術大学・筑波大学芸術専門学群・日本大学芸術学科
- ・東京造形大学・東北芸術工科大学・金沢美術工芸大学

### 2. 研究成果発表

佐藤国際文化育英財団第33回奨学生美術展

第33期奨学生の研究発表の展覧会を開催します。併せて、過去の奨学生の中から活躍著しい画家2名を選抜し招待出品します。

2024年9月10日(火)～10月20日(日)

### 3. 相談・助言事業

奨学生及び若い作家が社会に出て行くにあたって必要とされる様々な相談や助言を継続的に行ないます。

## 公益目的事業 2

佐藤美術館の運営等、美術の普及に関する事業

### 1. 展覧会

- ・佐藤美術館収蔵品展

昨年の新収蔵品を含む当館の収蔵品の中から約30点を展示。（日本画、油画、版画）

2024年5月14日(火)～6月30日(日)

- ・企画展

～昭和・平成・令和～女性日本画家展 \*特別出品：守屋多々志「紫式部」

当館の収蔵品の中から昭和から平成、令和と時代が移り変わるなかで活躍してきた女性日本画家の作品を約 25 点展示。

2024 年 11 月 1 日（金）～12 月 15 日（日）

—芸術の源泉—日本画家が想い、描く富士山展（仮称）

日本人の象徴的存在である富士山がその時代時代において如何なる意味合いを持ち描かれてきたのかを横山大観から現代日本画家まで約 20 点の作品により通観します。

2025 年 1 月 7 日（火）～2 月 16 日（日）

## 2. 展示室の貸与

- (1) 多摩美術大学大学院日本画領域二年生展「REFLECTION」  
多摩美術大学大学院日本画専攻の 2 年生による研究発表展。  
2024 年 4 月 19 日（金）～5 月 2 日（木）
- (2) 描画図鑑「おとぎ話」  
東京藝術大学デザイン科描画装飾研究室出身の若手作家によるグループ展。  
2024 年 7 月 9 日（火）～7 月 21 日（日）
- (3) 東京ゆうゆう会研究発表展  
京都芸術大学通信教育部美術科日本画コースの卒業生及び在校生による研究発表展。  
2024 年 7 月 30 日（火）～8 月 12 日（月・祝）
- (4) <sup>びょうびょう</sup> 渺 渺 展  
日展、院展、創画会、無所属等様々な場で活躍する若手日本画家のグループ展。  
2024 年 8 月 20 日（火）～9 月 1 日（日）
- (5) 大志学園卒業制作展  
大志学園傘下の早稲田国際ビジネスカレッジデザイン総合学科テキスタイルデザインコースと武蔵野学芸専門学校専門課程・高等課程の卒業制作展。  
2025 年 2 月 21 日（金）～3 月 6 日（木）
- (6) 武蔵野美術大学大学院修士課程日本画コース修了制作展  
武蔵野美術大学大学院日本画コース 2 年生による修了作品の展示。  
2025 年 3 月 11 日（火）～3 月 23 日（日）

### 公益目的事業 3

#### 美術作品の収集・保存事業

- ・花と緑（自然）をテーマとする現代日本画を当館のコレクションとして収集し将来の公開のために備えます。
- ・奨学生美術展出品作品のなかから優れた作品を買上し奨学生及び若い作家への支援に

するとともに当館のコレクションの充実をはかります。

- ・奨学生及び若手作家の資料を整理・保存します。

### **収益事業 1 美術に関する受託事業**

公益目的事業の財源に充てるため、美術作品に関する展示指導等を行ないます。

### **収益事業 2 不動産賃貸事業**

公益目的事業の財源に充てるため、不動産の賃貸を行ないます。  
アート吉祥寺ビル、グリーンサイドビルの賃貸事業などを行ないます。

### **収益事業 3 ミュージアムショップ事業**

美術の普及のため、展覧会の図録・絵葉書等の販売を行ないます。

## **理事長及び常務理事の職務執行状況報告**

理事長は以下の業務を行った。

佐藤美術館の管理・運営、美術の普及啓蒙、美術に関する創造等に対する支援、美術を専攻する国内外の学生への奨学援助、美術を通じた国際交流、文化の普及・振興及び諸外国の国民との相互理解の増進に寄与することを目的とし事業を行うための事務局の管理を総合的見地から行った。また、以下の書類の作成及び理事会の決議を行った。事業報告、事業報告の附属明細書、貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書、財産目録など業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類また、評議員会及び理事会の招集を行った。理事会の議長を行った。併せて専攻委員会など委員会の招集及びその運営を行った。

常務理事は、理事長の行った上記の業務を補佐した。

以上